

よきかな若人

～飯綱山こそわれらが希望～

二学期終業式 藤木学校長より

「つまずいているのは進んでいる証拠」

「この度は、私たちのために二回も演奏の機会を与えて下さり、本当にありがとうございます。」

これは、二学期に出会った私の忘れられない一言です。

これは、いつの言葉か分かりますか。飯綱校祭で、吹奏楽部の代表生徒が挨拶の中で発した言葉です。今年は新型コロナウイルスの影響で、全ての行事について、実施できるのか、どう実施すればよいのかを悩ま続けた一年でした。その中でも、飯綱校祭は頭を悩ませました。例えば、その中の一つ、吹奏楽部の演奏は、コロナウイルスの感染拡大が収束しない中で、果たして行つてよいものなのか、安全に行う方法はないのか、先生たちも何回も何回も議論を繰り返しました。そうして、今年のように二回に分けて演奏することになったのです。つまり、二回も演奏のチャンスがあるからという思いではなく、全校の前で演奏させてやりたいけれど、密を避けるためには二回に分けざるを得ないという、仕方なしの決断だったのです。

ですから、私はずっと「全校の前で演奏させてやりたかったのに申し訳ないなあ」という思いをひきずっていました。そこで、出会ったのが先ほどの「二回も演奏の機会を与えて下さり、本当にありがとうございます」という言葉でした。制限があるにも関わらず、感情的に不平不満を口にするのではなく、苦しい環境や条件すらも前向きにとらえ、皆で盛り上げる姿に私は救われた思いがしました。これは吹奏楽部の発表に限ったことではありません。全ての場で、飯綱校祭の開催に向けて、みなさんはピンチをチャンスに変えてくれました。あとき、空に飛んでいった風船は、まさに希望の象徴でした。

飯綱校祭だけではありません。中学生議会にしてもマイヒーローの学習にしても、期間の短い中での学習でしたが、皆さんはしっかりと自分の考えをもつまでに学習を深めていました。「花祭りで花の名所をめぐるスタンプラリーを開催すると、飯綱町の活性化につながるのでは」と提案したり、「ウオニョンさんのように、自分も仲間のために努力できる人になる」と自分のあり方を見つめたりと、自分に何ができるのか建設的に考える姿は、問題を見つけては非難する風潮が加速する社会の中で、ひとときわ真摯な姿として映りました。(中略)

二学期の始め、私はこう言ったことを今更ながらに思い出しました。

二学期は実りの二学期です。飯綱中学校の知恵と優しさと前向きな考え方を

を結集して確かな実をつけられるか、いつもとは違う少し不便な二学期の中で私たちは試されているのかもしれない。」

みなさんは、一人一人、形も大きさも違うけれど、確かな実を实らせました。環境が整わなくても、前向きな考え方で、自分なりの目標に向けて頑張る思いと、互いを支える気持ちが一つになれば、確かな実をつけられることを、私は皆さんからも飯綱町の多くの方からも学ばせていただきました。

326と書いてミツルさんという方がいます。その方の言葉の中にこういう言葉があります

「人生はかけ算だ。どんなにチャンスがあっても、君が「ゼロ」なら意味がない」

いかなる環境下でも前向きに、挑み続ける気持ち、支え合う気持ちが「あなた」にあれば、人生の幸せはかけ算のように膨れ上がっていくという言葉です。

二学期も校長室にはいろいろな声が聞こえてきました。時には、間違いを犯して先生に叱られている声も。時には、「あー。ダメだった。全然点数いかねーわ」という声も。この中にも上手く結果が出なくて、くじけそうな人もいます。人間関係で悩んでいる人もいます。上手くいかないこと、悩んでいることはマイナスではありません。想像してみてください。あなたは、宝物を求めてトンネルのような穴を掘っているとします。重いシヤベルで、掘っても掘っても、宝物にはたどり着きません。何日も何日も、掘っても掘っても目の前に見えるのは土の壁。でも、そこで、諦めてよいのですか。もしかししたら、あと一掘りで、土の壁に穴が開き、あなたの目の前にずつと求めていた宝物の灯りが差し込んでくるかもしれないのです。さあ、あと一回チャレンジしてみよう。あと一回チャレンジしてみよう。仮に、とことんまで掘り続けて宝物に届かなかったとしても、あなたにはいつのまにか強靱な体力と、ちよつとやそつとの苦労ではへこたれない心のスタミナがついているのですよ。そうならば、あなたは0ではありません。穴を掘る過程でついた体力と心のスタミナは次のチャンスで必ずやあなたを支える大きな力となるからです。

だから今、つまずき、悩んでいたら、こう考えて自分を褒めてやりましょう。

「つまずいているのは進んでいる証拠」

2020年がおわり、新たな年が始まります。

皆さんにとって、よい2021年となりますように。

消毒ボランティア

新型コロナウイルス感染症防止対策として、7月20日より、延べ180名超の地域の方々に、校内消毒ボランティアにご参加いただきました。最終日となった23日には、全校生徒へのメッセージのはがきと手作りの「顔晴る(がんばる)わんこちゃん」をボランティアの皆様よりいただきました。長きにわたり、校内の消毒にご尽力をいただき、本校職員一同、心より御礼申し上げます。



2学期を振り返って（終業式での発表より）

1年3組 松谷 亜実さん

私は2学期を通して学んだことが2つあります。1つ目は、協力することの大切さです。校祭の運動会でリレーをやった時に学びました。初めて全員で走ってみた時は、バトンパスが全然速くできませんでした。練習をしてもあまりタイムが伸びなくて、昼休みに練習をしました。でも、みんなの考えがまとまらず、何をどう練習したらいいかが決まらなくて、最初はみんなバラバラでした。だけど、一人が何か提案すると、それに対して「もっとこうしたら」という意見がどんどん出るようになりました。全員の気持ちが「勝ちたい」という方向に向いてきて、自分たちだけの練習でも、みんなまとまってできるようになりました。本番前の記録はそれほどよくありませんでしたが、本番では一人ひとりが全力で取り組み、1位になれました。その時の気持ちは、達成感をはるかに超えたもので、すごく感動しました。仲間と協力するという事は、一人ひとりが一生懸命に取り組み、相手を気づかい、支え合うことだと感じました。

2つ目は、自分から動くことです。周りに流されないように行動することは難しいことです。私は、1学期までは友達と行動することが多く、自分で判断して動くことはほとんどありませんでした。しかし、2学期に入ってから、一人で行動できることが増え、さらに周りを見て判断し、人を手伝うこともできるようになりました。協力すべきことはみんなで一緒にやり、それ以外は自分で考えて動かなければいけないということを学びました。

3学期からはイギリスに引っ越すことになり、自分の周りの環境が全て変わります。それでも、今まで日本で学んできた相手を思いやることやあいさつをすることの大切さ、そして中学校に入ってから学んだこと、協力することと自分から動くことを意識して、これからの生活に活かしていきたいと思います。

飯綱町で過ごしたことを大切な思い出として忘れません。これからも勉強や自分がやりたいと思ったことに一生懸命取り組みたいです。皆さんありがとうございました。

2年3組 飯島 大陽さん

僕が2学期に頑張ったことは2つあります。

1つ目は校祭です。4月に新しいクラスになりましたが、新型コロナウイルスの関係で学校は休校になってしまいました。思うようにクラスの団結力を高めることができている中で、どうしたらみんなで協力して音楽会や運動会を迎えることができるか、クラスで考えました。運動会の全員リレーでは、「必勝」を目標に練習の時から少しでもタイムを縮めようと頑張りました。本番では2年3組全員の思いがひとつになってバトンをつなぐことができました。運動会が大成功に終わり、次は合唱です。僕たちは「虹」を歌いました。課題がたくさんある中で、一つひとつ細かいところまで直しながら、たくさん歌いました。校祭を通して、クラスの一人ひとりのよいところを見つけることができ、クラスの団結力や絆など、たくさんものを得ることができました。

2つ目は、職場体験学習です。職場体験学習では、働く上で知っておかなければならないマナー、仕事のやりがいや大変さ、働くことの責任、一番身近な親への感謝など、たくさんのことを学びました。初めての体験で分からないこともたくさんありましたが、2日間の体験を通して、職場の方に「だんだん上達している」と言っていただき、とてもうれしかったです。しかし、2日目になると疲れてきます。毎日継続して仕事をする事は、本当に大変だと思いました。2日間の体験をして終わりではなく、普段の学校生活に活かしていきたいです。

3学期の僕の課題は生活リズムを正すことです。以前は家に帰り、1時間だらだらして勉強にとりかかっていた。でも、それだと終わる時間が遅くなり、睡眠時間が十分にとれなかったり、次の日に体調を崩してしまったりすることがありました。これから3年生になったら勉強時間を増やしたいので、体調の管理もできるよう、生活リズムを正していきたいです。また、学級長として、クラスみんなに頼ってもらえる存在になります。有言実行で頑張ります。

3年1組 飯田 朱音さん

2学期に心に残ったことは、2学期の一番の行事と言える飯綱校祭です。今年は新型コロナウイルスの影響があり、全校でできることが少なかったけど、無事に校祭が行えてよかったです。

1日目の運動会では、障がい物リレーが印象に残っています。次の人につないでいくのが難しかったけど、競技をする人も応援する人もすごく盛り上がり、楽しめたのでよかったです。リレーでは、1位になれなかったけど、みんなでバトンをつなぐことができた時、クラスがひとつになった気がしました。

2日目の音楽会では、今まで練習してきた成果を発揮して歌うことができたので感動しました。そして、最後に全校で風船を飛ばした時の景色が思い出に残っています。最後の校祭が終わってしまったので、少しさみしい気持ちになりました。地域や保護者の方に見に来ていただけなかったのは残念だったけど、とてもよい校祭になったと思います。

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。

学校評価アンケート「よりよい学校づくりのために」へのご協力ありがとうございました。アンケート結果とお寄せいただいたご意見を踏まえ、3学期及び来年度の学校運営に生かして参ります。結果につきましては、3学期の学校だよりでお知らせいたします。3学期もよろしく願いいたします。